

第89回触媒化学融合研究センター講演会

本講演会は、文部科学省による「世界で活躍できる研究者戦略育成事業：大学×国研×企業連携によるトップランナー育成プログラム」の支援により実施されます。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

カルボン酸およびその等価体の化学選択的 エノラート形成反応

<講師>

九州大学大学院薬学研究院

大嶋 孝志 教授



日時：2022年8月5日（金）15:00～16:00

場所：産総研第5事業所 第2本館

第3・4会議室（5-2 6602・6603室）およびTeams配信

申込forms：<https://forms.office.com/r/p16uQZ1ZvP> 【締切：8/2（火）】

医薬品などの合成には官能基の反応性（化学選択性）の制御が極めて重要である。化学選択性は官能基の本質的な反応性に依存するため、逆転させることは極めて困難であり、保護基や等モル量の試薬を用いて選択性の制御が行われてきた。我々は反応性の低い官能基を選択的に活性化する官能基標的触媒の開発を通じて、化学選択性の触媒制御に成功してきた。今回の講演では、カルボン酸及びその等価体の酸性度の逆転に焦点を絞り、反応機構も含めて詳細を紹介したい。また、化学選択性の網羅的な情報収集のために学術変革領域「デジタル有機合成」で行っている「官能基評価キット」を用いた取り組みについても紹介したい。